



2022年3月11日

各 位

会社名 株式会社 千趣会
代表者名 代表取締役社長 梶原 健司
(コード番号：8165、東証第一部)
問合せ先 取締役 コーポレート本部長 高橋 哲也
(TEL 06-6881-3220)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月11日開催の取締役会において、最近の業績動向をふまえ、2022年2月10日に公表いたしました2022年12月期の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

●通期業績予想の修正について

(1) 当期の連結業績予想数値の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 76,000	百万円 200	百万円 300	百万円 350	円 銭 7.46
今回修正予想 (B)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(参考) 前期連結実績 (2021年12月期)	73,149	349	520	308	6.64

(2) 修正の理由

当社グループは、本年1月に当初の計画どおり基幹システムのリプレースを実行いたしました。このリプレースは、複雑化したシステムと業務の刷新・BPRを行い、様々な変化への対応力を向上させることを目的とし、事前に相当の時間と工数をかけて準備を行っていましたが、新システム稼働後にベル

メゾンネットでご注文を正しく受け付けできない、予定どおりに商品をお届けできない等の事象が発生しました。また、これらに起因してコールセンターへのお問い合わせが集中する等、影響が広範囲にわたり通常の営業活動に支障をきたす状態となりました。2022年2月10日に公表いたしました通期連結業績予想では、一定の受注減は織り込みつつ、収束後にリカバリー施策を行うことで挽回が可能であると見込み、2月中旬の収束に向けて、販売促進策の実施を見合わせるとともに人員配置を変更する等の対応を行ってまいりました。

現在、システムについては概ね平常通りに稼働しておりますが、当社グループの中核事業である通信販売事業のベルメゾンの売上高は、1月に引き続き2月も前期を大きく下回って推移し前年と比較して受注が半減しております。これにより2022年12月期の通期連結業績は、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回予想を下回ることが予想されます。

業績回復を目指し3月から徐々に販売促進策を再開させており、本日公表いたしました「合併会社（連結子会社）設立に関するお知らせ」に記載のとおり新会社を設立する等、中期経営計画の実現に向けて積極的な投資を続けてまいります。これらの効果が発現されるまでに時間を要するため、現時点では通信販売事業の業績予想を合理的に算定することが困難であり、当社グループの連結業績予想は一旦取り下げ「未定」とさせていただきます。

今後、合理的な業績予想の算定が可能となった段階で改めて公表いたします。

お客様に安心してご利用いただける状態に安定させること、そしてトラブル発生により大幅に縮小しておりました販売促進策を順次再開させていただくと共に、新たなリカバリー施策を実施することにより、お客様の信頼回復と受注回復に全社をあげて取り組んでまいります。

なお、現時点におきましては、1株当たり7円の年間配当予想（中間配当3円、期末配当4円の予想）の修正はございませんが、通期連結業績予想の確定後、修正が必要な場合は、改めて公表いたします。今後も企業価値の向上に努め、株主の皆様へ安定的な利益還元が実現できるように取り組んでまいります。

以 上